

安全データシート

制定日:1999年4月1日
改訂日:2018年8月2日(21版)

化学品及び会社情報	化学品の名称	アラルナイト®スタンダード (AR-S30、AR-1600) (エポキシ系強力接着剤)主剤		
	会社名	ニチバン株式会社		
	住所	本社	東京都文京区関口 2-3-3	
		担当部門	品質環境管理部 埼玉県日高市大谷沢西原 100 番地	
	連絡先	電話番号	042-989-3716	
FAX		042-989-3719		
危険有害性の要約	GHS分類	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚腐食性/刺激性 : 区分 2 ・眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分 2A ・皮膚感作性 : 区分 1 ・水生環境有害性(急性) : 区分 2 ・水生環境有害性(慢性) : 区分 2 <p>【GHSラベル要素】</p> <div style="text-align: center;">  </div>		
	注意喚起語 危険有害性情報	<p>警告</p> <p>H315 皮膚刺激。 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 H319 強い眼刺激。 H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。</p>		
	注意書き	<p>安全対策</p> <p>P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレアの吸入を避ける。 P264 取扱い後は皮膚をよく洗う。 P272 汚染された作業衣は作業場から出さない。 P273 環境への放出を避ける。 P280 保護眼鏡/保護面を着用する。 P280 保護手袋を着用する。</p> <p>応急措置</p> <p>P302+P352 皮膚に付着した場合:多量の水と石けん(鹼)で洗う。 P305+P351+P338 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗う。 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続ける。 P333+P313 皮膚刺激又は発疹が生じた場合:医師の診断/手当てを受ける。 P337+P313 目の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受ける。 P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をする P391 漏出物を回収する。</p> <p>廃棄</p> <p>P501 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託する。</p>		
	<p>GHS 分類に該当しない他の危険有害性 重要は徴候および想定される非常事態の概要: 情報なし</p>			

<p>組成、成分情報</p>	<p>化学物質・混合物の区別： 混合物</p> <table border="1" data-bbox="435 208 1497 499"> <thead> <tr> <th>物質名</th> <th>含有量 wt%</th> <th>CAS No.</th> <th>官報公示整理番号 (化審法)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状)</td> <td>60-70</td> <td>25068-38-6</td> <td>7-1283</td> </tr> <tr> <td>ビスフェノールF-エポキシ樹脂</td> <td>1-10</td> <td>9003-36-5</td> <td>7-1285</td> </tr> <tr> <td>アモルファスシリカ</td> <td>1-10</td> <td>112945-52-5</td> <td>1-548</td> </tr> </tbody> </table>	物質名	含有量 wt%	CAS No.	官報公示整理番号 (化審法)	ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状)	60-70	25068-38-6	7-1283	ビスフェノールF-エポキシ樹脂	1-10	9003-36-5	7-1285	アモルファスシリカ	1-10	112945-52-5	1-548
物質名	含有量 wt%	CAS No.	官報公示整理番号 (化審法)														
ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状)	60-70	25068-38-6	7-1283														
ビスフェノールF-エポキシ樹脂	1-10	9003-36-5	7-1285														
アモルファスシリカ	1-10	112945-52-5	1-548														
<p>応急措置</p>	<p>【一般的アドバイス】 : 危険域から避難させる。 この安全データシートを担当医に見せる。 被災者を一人にしない。</p> <p>【吸入した場合】 : 意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。 症状が持続する場合は、医師に連絡する。</p> <p>【皮膚に付着した場合】 : 皮膚の炎症が継続する場合は、医師に連絡する。 皮膚に付着した場合は、水で十分にすすぐ。 衣服に付いた場合、衣服を脱ぐ。</p> <p>【眼に入った場合】 : 直ちに、眼を十分な流水で、勢いよく洗い流す。 コンタクトレンズをはずす。損傷していない眼を保護する。 洗浄中は眼を大きく開ける。 眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。</p> <p>【飲み込んだ場合】 : 気道を確保する。 ミルクやアルコール飲料を与えない。 意識がない場合、口から絶対に何も与えない。 症状が持続する場合は、医師に連絡する。</p> <p>【急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状】 ・知見なし。</p>																
<p>火災時の措置</p>	<p>【消火剤】 ・本製品自体のデータなし</p> <p>【使ってはならない消火剤】 ・大型棒状の水</p> <p>【特有の危険有害性】 ・火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止する。</p> <p>【有害燃焼副産物】 ・本製品自体のデータなし</p> <p>【特有の消火方法】 ・汚染した消火廃水は回収する。排水施設に流してはならない。 ・火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。</p> <p>【消火を行う者の保護】 ・消火活動時には必要に応じて、自給式呼吸装置を装着する。</p>																
<p>漏出時の措置</p>	<p>【人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置】 ・保護具を着用する。</p> <p>【環境に対する注意事項】 ・製品を排水施設に流してはならない。 ・安全を確認してから、もれやこぼれを止める。 ・製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。</p> <p>【封じ込め及び浄化の方法及び機材】 ・不活性の吸収材(例えば砂、シリカゲル、酸性結合剤、汎用結合剤、おがくず)で吸収させ、適切な容器に回収し密閉する。</p>																

<p>取扱い及び 保管上の注意</p>	<p>取扱い 【火災および爆発に対する保護対策】 ・標準的な防火方法 【安全取扱注意事項】 ・蒸気や粉塵を吸い込まない。 ・ばく露を避ける-使用前に特別指示を受ける。 ・皮膚や眼への接触を避ける。 ・個人保護については項目「ばく露防止及び保護措置」を参照する。 ・作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。 ・洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。 ・皮膚感受性並びに喘息、アレルギー、慢性または反復性の呼吸器疾病を有する人は、この製剤を使用するすべての工程に従事しないことが望ましい。 【衛生対策】 ・使用中は飲食しない。 ・使用中は禁煙 ・休憩前や終業時には手を洗う。 保管 【安全な保管条件】 ・容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。 ・一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるため直立させて保管する。 ・電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。 【混触禁止物質】 ・強酸、強塩基類、強酸化剤</p>
<p>ばく露防止及び 保護措置</p>	<p>作業場における成分別ばく露限界/許容濃度 ・許容濃度が設定されている物質を含有していない。 保護具 【手の保護具】 ・材質 : ブチルゴム ・破過時間 : >8h ニトリルゴム ネオプレン製手袋 PVC(ポリ塩化ビニル) ブチルゴム 10-480min 備考 : ある特定の作業場の適正度は、防護手袋製造者との相談で決定すべきである。 【眼の保護具】 ・純水入りの眼洗浄ボトル ・密着性の高い安全ゴーグル ・作業中に異常が発生した場合は、顔面保護シールドと保護衣を着用する。 【皮膚および身体の保護具】 ・不浸透性衣服 ・作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。</p>
<p>物理的及び 化学的性質</p>	<p>【外観】 ・ペースト(淡黄色) 【臭い】 ・微かにあり 【pH】 ・約 6、濃度:500g/l (20℃) 【融点・凝固点】 ・データなし 【沸点】 ・200℃以上 【引火点】 ・260℃(クリーブランド開放式引火点試験) 【燃焼又は爆発範囲の上限・下限】 ・データなし 【蒸気圧】 ・0.001hPa(20℃) 【比重】 ・1.17 【密度】 ・1.12-1.22g/cm³[20℃] 【溶解度(水)】 ・不溶性(20℃) 【n-オクタノール/水分配係数】 ・データなし 【自然発火温度】 ・データなし 【分解温度】 ・200℃以上 【粘度 動粘度】 ・150,000-200,000mPa.s(25℃)</p>

<p>安定性及び反応性</p>	<p>【反応性】 【化学的安定性】 【危険有害反応可能性】 【避けるべき条件】 【危険有害な分解性生物】</p> <p>・通常の使用では安定 ・通常の使用では安定 ・通常の使用では安定 ・データなし ・炭素酸化物 燃焼により不快で有毒な煙霧が発生する。</p>
<p>有害性情報</p>	<p>可能性のあるばく露経路の情報</p> <p>【急性毒性】 急性経口毒性-製品</p> <p>・本製品自体のデータなし ・LD50(ラット):>5000mg/kg</p> <p>成分: アモルファスシリカ: 急性吸入毒性</p> <p>LC50(ラット, オスおよびメス): > 58.8 mg/l ばく露時間: 4 h 試験環境: ダスト/噴霧 方法: OECD 試験ガイドライン 403</p> <p>成分: ビスフェノール A 型エポキシ樹脂(液状): 急性経皮毒性</p> <p>LD50(ラット, オスおよびメス): > 2,000 mg/kg 方法: OECD 試験ガイドライン 402 アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。</p> <p>ビスフェノール F-エポキシ樹脂: 急性経皮毒性</p> <p>LD50(ラット, オスおよびメス): > 2,000 mg/kg 方法: OECD 試験ガイドライン 402 アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。</p> <p>アモルファスシリカ: 急性経皮毒性</p> <p>LD50(ウサギ): > 5,000 mg/kg</p> <p>急性毒性(その他の経路)</p> <p>データなし</p> <p>【皮膚腐食性及び皮膚刺激性】 製品:</p> <p>備考: 皮膚に刺激/皮膚炎を起すことがある。</p> <p>【眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性】 製品</p> <p>備考: 不可逆的な目の損傷が起きる恐れがある。</p> <p>【呼吸器感作性又は皮膚感作性】 製品 ばく露経路: 皮膚 種: モルモット 結果: 感作を起こす。</p> <p>備考: 感作を起こす。</p> <p>アセスメント: データなし</p>

【生殖細胞変異原性】	
成分	
ビスフェノール A 型エポキシ樹脂(液状): in vitro での遺伝毒性	代謝活性化: 代謝活性化系の存在下および非存在下による 方法: OECD 試験ガイドライン 476 結果: 陽性
	濃度: 0 - 5000 ug/plate 代謝活性化: 代謝活性化系の存在下および非存在下による 方法: OECD 試験ガイドライン 471 結果: 陽性
ビスフェノール F-エポキシ樹脂: in vitro での遺伝毒性	代謝活性化: 代謝活性化系の存在下および非存在下による 方法: OECD 試験ガイドライン 471 結果: 陽性
	代謝活性化: 代謝活性化系の存在下および非存在下による 方法: OECD 試験ガイドライン 473 結果: 陽性
	代謝活性化: 代謝活性化系の存在下および非存在下による 方法: OECD 試験ガイドライン 476 結果: 陽性
アモルファスシリカ: in vitro での遺伝毒性	代謝活性化: 代謝活性化系の存在下および非存在下による 方法: OECD 試験ガイドライン 473 結果: 陰性
	代謝活性化: 代謝活性化系の存在下および非存在下による 方法: OECD 試験ガイドライン 476 結果: 陰性
	代謝活性化: 代謝活性化系の存在下および非存在下による 方法: OECD 試験ガイドライン 471 結果: 陰性
成分:	
ビスフェノール A 型エポキシ樹脂(液状): in vivo での遺伝毒性	細胞型: 胚 投与経路: 経口 方法: OECD 試験ガイドライン 478 結果: 陰性
	細胞型: 体細胞 投与経路: 経口 投与量: 0 - 5000 mg/kg 方法: OPPTS 870.5395 結果: 陰性

<p>ビスフェノール F-エポキシ樹脂: in vivo での遺伝毒性</p>	<p>細胞型: 体細胞 投与経路: 経口 ばく露時間: 48h 投与量: 2000mg/kg 方法: OECD 試験ガイドライン 474 結果: 陰性</p> <p>細胞型: 体細胞 投与経路: 経口 投与量: 2000 mg/kg 方法: OECD 試験ガイドライン 486 結果: 陰性</p>
<p>アモルファスシリカ: in vivo での遺伝毒性</p>	<p>投与経路: 吸入 投与量: 50 mg/m3 結果: 陰性</p>
<p>成分: ビスフェノール A 型エポキシ樹脂(液状): 生殖細胞変異原性- アセスメント</p>	<p>根拠が薄く生殖細胞突然変異源として分類することはできない。</p>
<p>生殖細胞変異原性- アセスメント</p>	<p>データなし</p>
<p>【発がん性】 成分: ビスフェノール A 型エポキシ樹脂(液状): 種: ラット, (オスおよびメス) 投与経路: 経口 ばく露時間: 24 ヶ月間 投与量: 15 mg/kg 投与頻度: 7 日数/週 方法: OECD 試験ガイドライン 453 結果: 陰性</p>	
<p>種: マウス, (オス) 投与経路: 皮膚 ばく露時間: 24 ヶ月間 投与量: 0.1 mg/kg 投与頻度: 3 日数/週 方法: OECD 試験ガイドライン 453</p> <p>結果: 陰性</p>	
<p>種: ラット, (メス) 投与経路: 皮膚 ばく露時間: 24 ヶ月間 投与量: 1 mg/kg 投与頻度: 5 日数/週 方法: OECD 試験ガイドライン 453 結果: 陰性</p>	

	<p>アモルファスシリカ: 種: ラット, (オスおよびメス) 投与経路: 経口 ばく露時間: 103 週間 投与量: 1800 - 3200 mg/kg 投与頻度: 7 毎日 方法: OECD 試験ガイドライン 453 結果: 陰性</p> <p>発がん性-アセスメント: データなし</p> <p>【生殖毒性】 成分: ビスフェノール A 型エポキシ樹脂(液状): 生殖に対する影響</p> <p>試験タイプ: 二世世代試験 種: ラット, オスおよびメス 投与経路: 経口 投与量: >750 ミリグラム / 1 キログラムあたり 一般毒性 親: 無影響量: 540 mg/kg 体重 一般毒性 第一世代: 無影響量: 540mg/kg 体重 症状: 悪影響無し。 方法: OECD 試験ガイドライン 416 結果: 生殖および初期胚発生への影響は確認されなかった。</p> <p>ビスフェノール F-エポキシ樹脂: 種: ラット, オスおよびメス 投与経路: 経口 方法: OECD 試験ガイドライン 416 結果: 生殖および初期胚発生への影響は確認されなかった。</p> <p>成分: ビスフェノール A 型エポキシ樹脂(液状): 胎児の発育への影響</p> <p>種: ウサギ, メス 投与経路: 皮膚 母体の一般毒性: 無有害作用量:30 mg/kg 体重 方法: 他のガイドライン 結果: 催奇形影響なし。</p> <p>種: ウサギ, メス 投与経路: 経口 母体の一般毒性: 無有害作用量:60 mg/kg 体重 方法: OECD 試験ガイドライン 414 結果: 催奇形影響なし。</p> <p>種: ラット, メス 投与経路: 経口 母体の一般毒性:無有害作用量:180 mg/kg 体重 方法: OECD 試験ガイドライン 414 結果: 催奇形影響なし。</p> <p>ビスフェノール F-エポキシ樹脂 種: ウサギ, メス 投与経路: 皮膚 母体の一般毒性: 無有害作用量:30 mg/kg 体重 結果: 催奇形影響なし。</p>
--	---

	<p>アモルファスシリカ:</p> <p>:</p> <p>生殖毒性 - アセスメント</p> <p>【特定標的臓器毒性(単回ばく露)】</p> <p>【特定標的臓器毒性(反復ばく露)】</p> <p>【反復投与毒性】</p> <p>成分:</p> <p>ビスフェノール A 型エポキシ樹脂(液状):</p> <p>種: ラット, オスおよびメス 無有害作用量: 50 mg/kg 投与経路: 経口摂取 ばく露時間: 14Weeks ばく露回数: 7d 方法: 亜慢性毒性</p> <p>種: ラット, オスおよびメス 無影響量: 10mg/kg 投与経路: 皮膚に触れた場合 ばく露時間: 13Weeks ばく露回数: 5d 方法: 亜慢性毒性</p> <p>種: マウス, オス 無有害性作用量: 100m/kg 投与経路: 皮膚に触れた場合 ばく露時間: 13weeks</p> <p>ばく露回数: 3d 方法: 亜慢性毒性</p> <p>ビスフェノール F-エポキシ樹脂:</p> <p>種: ラット、オスおよびマウス 無有害作用量: 250mg/kg 投与経路: 経口摂取 ばく露時間: 13 weeks ばく露回数: 7 d 方法: 亜慢性毒性</p>	<p>種: マウス 投与経路: 経口 母体の一般毒性: 無有害作用量: 1,340mg/kg 体重 方法: OECD 試験ガイドライン 414 結果: 催奇形影響なし。</p> <p>種: ウサギ 投与経路: 経口 母体の一般毒性: 無有害作用量: 1,600mg/kg 体重 方法: OECD 試験ガイドライン 414 結果: 催奇形影響なし。</p> <p>種: ラット 投与経路: 経口 母体の一般毒性: 無有害作用量: 1,350mg/kg 体重 方法: OECD 試験ガイドライン 414 結果: 催奇形影響なし。</p> <p>・データなし</p> <p>・データなし</p> <p>・データなし</p>
--	--	--

	<p>アモルファスシリカ: 魚毒性</p> <p>成分: ビスフェノール A 型エポキシ樹脂(液状): ミジンコ等の水生無脊椎動物 に対する毒性</p> <p>ビスフェノール F-エポキシ樹脂: ミジンコ等の水生無脊椎動物 に対する毒性</p> <p>アモルファスシリカ: ミジンコ等の水生無脊椎動物 に対する毒性</p> <p>成分: ビスフェノール A 型エポキシ樹脂(液状): 藻類に対する毒性</p> <p>ビスフェノール F-エポキシ樹脂: 藻類に対する毒性</p>	<p>LL50(Brachydanio rerio(セブライフィッシュ))> 10,000 mg/l ばく露時間: 96 h 試験タイプ: 止水式試験 被験物質: 淡水 方法: OECD 試験ガイドライン 202</p> <p>EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 2.7 mg/l ばく露時間: 48 h 試験タイプ: 止水式試験 被験物質: 淡水</p> <p>EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 1.6 mg/l ばく露時間: 48 h 試験タイプ: 止水式試験 被験物質: 淡水 方法: OECD 試験ガイドライン 202</p> <p>EL50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): >= 1,000 mg/l ばく露時間: 24 h 試験タイプ: 止水式試験 被験物質: 淡水 方法: OECD 試験ガイドライン 202</p> <p>EC50(Selenastrum capricornutum(緑藻)): 9.4 mg/l ばく露時間: 72 h 試験タイプ: 止水式試験 被験物質: 淡水 方法: EPA-660/3-75-009</p> <p>EC50(Selenastrum capricornutum(緑藻)): 1.8 mg/l ばく露時間: 72 h 試験タイプ: 止水式試験 被験物質: 淡水 方法: OECD 試験ガイドライン 201</p>
--	--	---

<p>アモルファスシリカ: 藻類に対する毒性</p>	<p>EL50(Desmodesmus subspicatus(セネデスムス・サブスピカトゥス)): > 10,000 mg/l ばく露時間: 72 h 試験タイプ: 止水式試験 被験物質: 淡水 方法: OECD 試験ガイドライン 201</p>
<p>M-ファクター (水生環境有害性(急性))</p>	<p>・データなし</p>
<p>魚毒性 (慢性毒性)</p>	<p>・データなし</p>
<p>成分: ビスフェノール A 型エポキシ樹脂(液状): ミジンコ等の水生無脊椎動物 に対する毒性 (慢性毒性)</p>	<p>無影響濃度(Daphnia magna(オオミジンコ)): 0.3 mg/l ばく露時間: 21 d 試験タイプ: 半静止試験 被験物質: 淡水 方法: OECD 試験ガイドライン 211</p>
<p>ビスフェノール F-エポキシ樹脂: ミジンコ等の水生無脊椎動物 に対する毒性 (慢性毒性)</p>	<p>無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.3 mg/l ばく露時間: 21 d 試験タイプ: 半静止試験 被験物質: 淡水 方法: OECD 試験ガイドライン 211</p>
<p>M-ファクター (水生環境有害性(慢性))</p>	<p>・データなし</p>
<p>成分: ビスフェノール A 型エポキシ樹脂(液状): バクテリアに対する毒性</p>	<p>IC50 (活性汚泥): > 100 mg/l ばく露時間: 3 h 試験タイプ: 止水式試験 被験物質: 淡水</p>
<p>ビスフェノール F-エポキシ樹脂: バクテリアに対する毒性</p>	<p>IC50 (活性汚泥): > 100 mg/l ばく露時間: 3 h 試験タイプ: 止水式試験 被験物質: 淡水</p>
<p>土中生物に対する毒性</p>	<p>・データなし</p>
<p>植物毒性</p>	<p>・データなし</p>
<p>堆積物毒性</p>	<p>・データなし</p>
<p>地上生物に対する毒性</p>	<p>・データなし</p>
<p>環境毒性アセスメント 成分: ビスフェノール F-エポキシ樹脂: 水生環境有害性(急性)</p>	<p>・本製品には既知の生体毒性は無い</p>

成分: ビスフェノール F-エポキシ樹脂: 水生環境有害性(慢性)	・長期継続的影響によって水性生物に毒性
土壌の毒性データ	・データなし
環境に関係する他の生物	・データなし
【残留性・分解性】	
成分 ビスフェノール A 型エポキシ樹脂(液状): 生分解性	植種源: 下水流出物 濃度: 20 mg/l 結果: 易分解性ではない。 生分解: 5 % ばく露時間: 28 d 方法: OECD 試験ガイドライン 301F
ビスフェノール F-エポキシ樹脂: 生分解性	植種源: 活性汚泥 濃度: 3mg/l 結果: 易分解性ではない 生分解: 約 0% ばく露時間: 28d 方法: 指令 67/548/EEC, Annex V, C.4.E.
生化学的酸素要求量(BOD)	・データなし
化学的酸素要求量(COD)	・データなし
BOD/COD	・データなし
ThOD	・データなし
BOD/ThOD	・データなし
溶存有機炭素(DOC)	・データなし
物理化学的除去性	・データなし
水中での安定性	・データなし
光分解性	・データなし
汚泥処理に対するインパクト	・データなし
【生体蓄積性】	
成分: ビスフェノール A 型エポキシ樹脂(液状): 生体蓄積性	生物濃縮因子(BCF): 31 備考: 生物濃縮されない
ビスフェノール F-エポキシ樹脂: 生体蓄積性	種: 魚 生物濃縮因子(BCF): 150 備考: 生物濃縮されない。

	<p>成分: ビスフェノール A 型エポキシ樹脂(液状): n-オクタノール/水分配係数</p> <p>log Pow: 3.242 (25 ° C) pH: 7.1 方法: OECD 試験ガイドライン 117</p> <p>ビスフェノール F-エポキシ樹脂: n-オクタノール/水分配係数</p> <p>log Pow: 2.7 - 3.6 方法: OECD 試験ガイドライン 117</p> <p>【土壌中の移動性】 移動性</p> <p>・データなし</p> <p>成分: ビスフェノール A 型エポキシ樹脂(液状): 環境中の分布</p> <p>Koc: 445.</p> <p>ビスフェノール F-エポキシ樹脂: 環境中の分布</p> <p>Koc: 4460. 方法: OECD 試験ガイドライン 121</p> <p>土中での安定性</p> <p>・データなし</p> <p>【オゾン層への有害性】 オゾン層破壊係数</p> <p>・非該当</p> <p>【他の有害影響】 環境動態および経路</p> <p>・データなし</p> <p>PBT およびvPvB の評価結果</p> <p>・データなし</p> <p>内分泌かく乱の可能性</p> <p>・データなし</p> <p>吸収された有機結合ハロゲン(AOX)</p> <p>・データなし</p> <p>生態系に関する追加情報-製品</p> <p>・職業上の規則に反した取り扱い、処理が行われた場合は、環境に及ぼす危険性を除外して考えることはできない。 長期継続的影響によって水性生物に毒性。</p> <p>地球温暖化係数(GWP)</p> <p>・データなし</p>
<p>廃棄上の注意</p>	<p>廃棄方法</p> <p>【残余廃棄物】 : 本製品を排水溝、水路、土壌に侵入させない。 薬剤または使用済みの容器で池、水路、溝を汚染しない。 認可された廃棄物処理業者へ委託する。</p> <p>【汚染容器及び包装】 : 残りの容器を空にする。 製品入り容器と同様に処分する。 空の容器を再使用しない。</p>

輸送上の注意	<p>国際規制</p> <p>IATA</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国連番号(UN number) : UN3082 ・国連輸送名(Proper shipping name) : Environmentally hazardous substance, liquid, n. o. s. (BISPHENOL A EPOXY RESIN) ・国連番号(Class) : 9 ・容器等級(Packing group) : III ・ラベル(Labels) : Miscellaneous ・梱包指示(貨物機・旅客機) : 964 <p>(Packing instruction(Cargo aircraft・passenger aircraft))</p> <p>IMDG</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国連番号(UN number) : UN3082 ・国連輸送名(Proper shipping name) : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. (BISPHENOL A EPOXY RESIN) ・国連分類(Class) : 9 ・容器等級(Packing group) : III ・ラベル(Labels) : 9 ・EmS コード(EmS Code) : F-A, S-F ・海洋汚染物質(Marine pollutant) : 該当 <p>MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質(該当・非該当)供給された状態の製品には不適用。</p> <p>国内規制</p> <p>特定の国の規則は「適用法令」を参照する。</p>
適用法令	<p>関連法規</p> <p>消防法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定可燃物、可燃性液体類 <p>化審法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優先評価化学物質 4,4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2,3-エポキシプロパンの重縮合物 (別名: ビスフェノール A 型エポキシ樹脂(液状のものに限る)) <p>労働安全衛生法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変異原性が認められた化学物質(既存化学物質) ビスフェノールA型エポキシ樹脂中間体 メチレンビスフェノール型エポキシ樹脂中間体 ・名称等を通知すべき危険物及び有害物 法第 57 条の 2(施行令別表第 9) シリカ(1-10%)
適用法令 その他の情報	<p>その他の国際規制</p> <p>この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報:</p> <p>CH INV : この製品はスイス既存物質リストに記載された物質を含有する。</p> <p>TSCA : TSCA 既存物質リストに記載されている。</p> <p>DSL : カナダ DSL に記載されている。</p> <p>AICS : 既存物質リストに記載されている、もしくは既存物質リストに準拠している。</p> <p>NZIoC : 既存物質リストに準拠していない。</p> <p>ENCS : 既存物質リストに記載されている、もしくは既存物質リストに準拠している。</p> <p>KECI : 既存物質リストに記載されている、もしくは既存物質リストに準拠している。</p> <p>PICCS : 既存物質リストに記載されている、もしくは既存物質リストに準拠している。</p> <p>IECSC : 既存物質リストに記載されている、もしくは既存物質リストに準拠している。</p> <p>インベントリー</p> <p>AICS (オーストラリア)、DSL (カナダ)、IECSC (中国)、REACH (欧州連合)、ENCS (日本)、ISHL (日本)、KECI (韓国)、NZIoC (ニュージーランド)、PICCS (フィリピン)、TSCA (米国)</p>

【引用文献】・JIS Z 7253:2012 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)ー7.SDSの全体構成及びその内容、付属書D

【注意事項】

- ・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては情報提供を目的とするものであり、保証するものではありません。
- ・記載事項は通常の使用条件での使用を対象としたもので他の化学物質を混合、特殊な条件で使用する場合には、お客様ご自身で安全性の評価を行った上でご使用ください。
- ・当安全データシートは、日本国内法規を基準に作成したものです。